

専門教育科目 講義科目

科目名： 面接技法		科目コード	EJ81
科目主査： 椎野 睦		単位	2
担当講師： 椎野 睦、田中 慎太郎、末崎 裕康、森川 友晴、吉野 大輔		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>本科目では、カウンセリングの理論と技法、そして具体的な進め方について学びます。臨床心理学におけるカウンセリングの理論として、ロジャーズによるクライエント中心療法の傾聴をベースとして、フォーカシングや解決志向アプローチ（ブリーフセラピー）、認知行動療法といった理論について理解を深めます。本科目を通じて「治療・解決的カウンセリング」「予防的カウンセリング」「成長支援的カウンセリング」といった心の健康をサポートする専門的なカウンセリングの基礎を理解します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	「カウンセリングの理論」を事前に履修・修得していることが望ましいです。本科目では、学生同士でカウンセリングの演習も行います。授業内の演習で知り得た情報を外部で開示しない守秘義務が守れることを前提とします。		
テキスト	『新しいカウンセリングの技法－カウンセリングのプロセスと具体的な進め方』諸富 祥彦, 誠信書房, 最新版		
この科目の到達目標	<p>①臨床心理学におけるカウンセリングの専門的理論の基礎を理解できる。 ②カウンセリングを行う上で注意しなければならない枠組みについて理解できる。 ③カウンセリングを実施するための具体的なプロセスや技法について理解できる。</p>		
成績評価の方法	<p>成績評価は、提出課題、最終試験の得点に加え、授業態度も考慮し、評価の対象とします。 最終試験は、教科書および2日間で学んだところから出題しますので、授業をきちんと聴き、自分なりの考えをまとめておいてください。</p> <p>※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>		
事後学習	<p>授業を通じて学んだ、カウンセリングマインドやカウンセリング技術を日常生活や社会貢献のために活かすことについて再考しましょう。職場や身の周りの人間関係を心理学的な視点からとらえ、自身がどのような行動をとることが、より良い環境になるかを考察してみましょう。</p>		
事後学習の参考文献	<p>『はじめてのカウンセリング入門（上） カウンセリングとは何か』諸富 祥彦, 誠信書房, 2010年 『はじめてのカウンセリング入門（下）ほんものの傾聴を学ぶ』諸富 祥彦, 誠信書房, 2010年 『心理学的支援法』杉原 保史/福島 哲夫/東 斉彰, 北大路書房, 2019年</p>		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証			